

平成28年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	24257 西脇健康ポイント制度事業			
基本政策	01 ともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち			
政策	03 自立生活を支える健康づくり			
施策	01 自主的な健康づくり活動の推進			
実施形態	直営			
事業期間	単年度	平成27年度～平成29年度		
要求区分	継続	予算区分	政策	
事業の実施を市に義務づける国の法令				
有無	努力規定あり			
法令名	国民健康保険法第82条「被保険者の健康の保持増進のために必要な事業を行うように努めなければならない。」			
予算科目	02-080201-040100			
部名	24 暮らし安心部	課名	02 保険医療課	
課長名	西山 淳子	T E L	22-3111	内線 371

2. 対象・目的・内容

事業概要	<p>誰もが楽しみながら健康づくりに取り組むきっかけづくりとして、健診受診、健康や介護予防に関連した事業などに参加した市民に健康ポイントを付与する。 10ポイントで1回、健康商品等の当たる抽選会に参加できる。 また、健康ポイントは、環境課が所管するエコポイントと共通ポイントとしている。 なお、本事業は、保険医療課（国民健康保険特別会計：30%）、健康課（一般会計：30%）、長寿福祉課（介護保険特別会計：40%）の3課で予算執行する。</p>
事業の対象 (誰・何を)	市民
事業の目的 (どういう状態にするために)	「健康なまち西脇市」を目指すための取組として、ポイントを付与し、健康づくり活動への参加を促す。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	健康づくりへの実践に対して「健康ポイント」を付与し、10ポイントで1回参加でき、健康商品等の当たる抽選会を実施する。

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成25年度決算額	-	-	-	-	-	-	-	-
平成26年度決算額	-	-	-	-	-	-	-	-
平成27年度決算額	1,013	102	350	0	0	0	204	357
平成28年度予算額	1,716	172	601	0	0	0	343	600

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成27年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成27年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.60	0.00	0.60	4,675	1,013	5,688
事業費の主な用途		抽選会の景品、ポイント手帳印刷代			

平成28年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	健康ポイント発行数				単位	ポイント
	説明や数式	発行したポイントの総数					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	目標値			15,000	15,000		
	実績値		13,730				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		5,688 0.41				
活動 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
成果 指標 ①	指標名	抽選会の参加者数				単位	人
	説明や数式	抽選会に参加した人の延べ人数					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	目標値			350	350		
	実績値		117				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		5,688 48.62				
成果 指標 ②	指標名	抽選回数				単位	回
	説明や数式	抽選機を回した総回数					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	目標値			1,000	1,000		
	実績値		306				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		5,688 18.59				
実績・成果 等の説明	成果指標の「抽選会の参加人数」「抽選回数」は、エコポイントによる参加者を含んでいる。 抽選回数におけるエコポイントと健康ポイントの比率は、およそ8:2となっている。						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	4
	事業の総合評価	直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
	説明	継続実施 市民の健康増進には、自主的な健康づくり活動の推進は欠かせない。 平成27年度から開始した本事業は、自主的な健康づくり活動につながっている。 健康ポイント制度について、引き続き普及啓発していき、健康づくりに関する実践者を増やす取組として推進していく。 また、健康づくり活動に対するインセンティブの付与は、保険者に対する評価にもつながっている。					
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
	事業の総合評価	直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
	説明	継続実施 平成27年度は事業初年度であり、健康ポイント制度事業の市民への浸透度合いの良否が判断しにくいですが、抽選会への来場者数や盛況ぶりから判断すると、相応の成果はあったと思われる。また、健康増進に関わりのある課が連携し、ポイント獲得を通して健康づくりや介護予防に取り組むといったそれぞれの活動の相乗効果も期待できる。制度の周知啓発、イベント抽選会のやり方等、工夫や改善すべき点はあるが、被保険者の健康保持増進のための事業実施は法令による努力規定でもあり、今後も継続実施が望ましい。					